

拓水

題字は 兵庫県連三浦会長

2月号

No. 185

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町123
発行人 三浦清太郎
TEL 671-6685・681-6954
編集 拓水編集委員会
発行日 毎月30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

第二十回

漁村青壮年活動実績発表

兵庫県大会開催

兵庫県及び兵庫県漁業協同組合連合会主催による漁村青壮年活動実績発表兵庫県大会は、去る一月十日水産会館において一六〇名が参加し盛大に開催された。
発表の概要は次のとおりであるが、きたる二月二十一日、二十二日の二日間東京で開催される全国大会には、高砂漁協水産研究会発表の「赤貝種苗の中間育成について」が推せんされた。
なお、特別講演として朝日新聞社社員金津正格氏の「中国をとりまく世界情勢の変化」と題して日本のこれから進む道について有益な講演があり、一同は終始熱心に聞き入った。大会の主な内容は次のとおりである。

実績発表のあらまし

人工干出装置によるのり種育苗と養殖について(丸山)

(動機) 従来は自家採苗した種網を五枚〜十枚単位で竹筏にとりつけ二日〜三日毎に陸まで曳航し、浜辺で干出していたが、多大の人手を必要とし、また三、これらの解決に悩んで

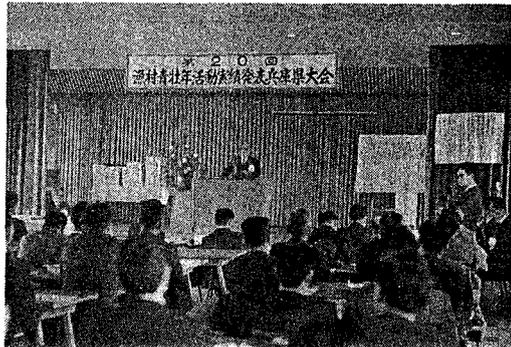
多量の種網を一度に干出すことができない。

いたところ、県で実施の先進地視察により干葉泉ののり干出を視察、参考として現在の干出装置を導入するに至った。

(内容) 装置はいわゆるエヤー・注式で、長さ二十メートルのパイプを八個のエヤー・注式で出ており、五P.Sのコンプレッサーからエヤーを通す。浮上十分間で約一海面から浮上する。この場合の種網は四尺網で六〇枚、五尺網で五十枚の分量。エヤーを抜くと五分間で海面にもどるといふもので、従来の竹筏による育苗結果との比較、また装置そのものの耐波性の試験等を研究内容としている。

(効果) 一、竹筏による育苗には、芽いたが早く見られた二、人工干出により育苗した種網と、竹筏による種網を沖で養殖した結果、収穫や品質に大きな差が見られた。三、努力の節減と良質な種網の確保が得られることが判明したが、装置自体の耐波性の問題が残って

主催者として挨拶する三浦県漁連会長



おり、今後の研究課題である。

沖合するめいか釣漁業の操業実績について(香住)

(動機) 沖合いかつり漁業は隆昌を極め、基幹漁業に台頭してきた反面、沿岸一本釣漁業を開始した。四十二年、六月間出漁した水揚高一六〇八万円、一五三万円を純利益を上げ、経営意欲を純めた。しかし木船のため、ローリングが激しく漁具のものが釣り上ったイカの脱落イカの喰ひの悪さ等操業上のロスが多いため、鋼船へ切り換えた。

(内容) 四五トン型中古木船の購入代二百万円、いかつり機一〇台、無線等漁具設備費五百万円、予備金五〇万円計七五〇万円として自己資本長崎市より八五トン型以北淡町漁村青年クラブ連合会

一、日時 昭和四十七年一月一日
二、場所 兵庫県水産会館 四階大会議室
三、出席者 三浦清太郎、駒居文夫、赤貝種苗の中間育成について
四、報告者 丸山漁協青年部 山本泰和

北淡町漁村青年クラブ連合会
一、特別講演 「中国をとりまく世界情勢の変化」
二、朝日新聞社社員 金津正格氏
三、審査員 藤本泉水産課長、藤本泉水産課長、田中水産課長、井原水産課長、菅原水産課長、竹本水産課長

沖合漁業の複合経営について(津居山港)

(動機) 沖合底層網漁業に従事する漁船は六、七、八月の三ヶ月間休漁期に当り、この対策を協議したが、丁度原水試「兵船丸」が大規模な沖合イカ釣漁業を行い、良成績を得ているところから、果水試の指導を取り替えて良果を得た。三、中つり部分は従来袋に直接ロープを取りつけて

金二百万円、漁揚より借入金五百万円、現金は水揚より分割払いすることとし、操業を開始した。

一、弱少資本の漁業においては大型化、近代化による生産性の向上を図ることである。

一、吊下式に改換し、一、六ミリのボルトを使用し、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。二、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。

一、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。

一、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。

一、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。

一、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。

一、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。

歩留りの点でもはじ網が良く、吊下式の方が成績良一、網の重量から見ればトリカルネット(網目一)で浮上式の方が成績良作業上では吊下式が便利である。

(効果) 一、吊下式にし、網は荒目を使用し底層部は種苗の脱落を防ぐため網目を小さくする。

二、シノロ皮は出来るだけシワを多くし、又設置については浮遊物の少ない所にする。

三、種苗確保の困難性からある程度解放された。

四、従来の面マキしていたものよりも中間育成で歩留りを良くすることができた。

五、安定した水揚げが可能である。

船曳網漁業の省力化について(北淡町)

(動機) 若年労働力の不足を補うため、重い船曳網をスムーズに合理的に操業し、操業上の時間的ロスを減じ、最少の努力と時間で最大の効果を上げる。

(内容) 船曳網は二重の曳網により操業するため、出漁、帰港時には、その都度接続用具を締めたり、そして、しななければならず、それが大変なものである。

一、はめ込み式に改良し、一、六ミリのボルトを使用し、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。

二、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。

三、揚網時のイワだけの重みで二百キロ以上もある漁具であるから省力化のため、クレモノロープ(十六ミリ)を使用した方が水に沈むため底掛が多く、ローリングが激しく、イカが脱落し、釣果が減少した。

韓国ノリ漁場の視察を終えて(林崎)

私たちが林崎漁協青年部の内七名が、自主的に四十六年十一月四日から八日間、輸出検査を受け、合換した韓国ノリ漁場の視察を終えてきた。韓国ノリ漁場の概要は、生産者は約二十万人で、以下のようなものである。養殖期は、張込網数は四〇万網程度で、十一月下旬から三月末までである。この間、平年占める主要な漁場である。

一、就業者の高齢化を機械力によりおこなえ、必要人員も四名(従来六名)で良くなった。

二、操業時間が長くなり漁獲量が増大した。

三、手動の機動性が養殖された。鮮度保持と価格安定に成果があった。

現地の話によると、一、シノロ生産者一人当たり二〇万円前後の収入があるが、調査が厳重で輸出量が伸びないで、生産意欲はかなり減退していることである。

社家直美氏 公選委員に就任

瀬戸内海漁業調整委員会
去る四十二年八月八日付就任以来海区漁調委員として活躍されてきた石上久男氏(一宮町漁協)は昨年十二月十九日死去されました。これに伴い本年一月六日付を以て公選委員として社家直美氏(由良町中央漁協)が就任されましたのでお知らせします。

